

ただ せわ 正しい世話をしよう



ある晴れた日の朝、園芸家のフレッドさんが仕事をするために農園に入ると、何かがおかしいことに気付きました。



木の下なんて、いやだわ。

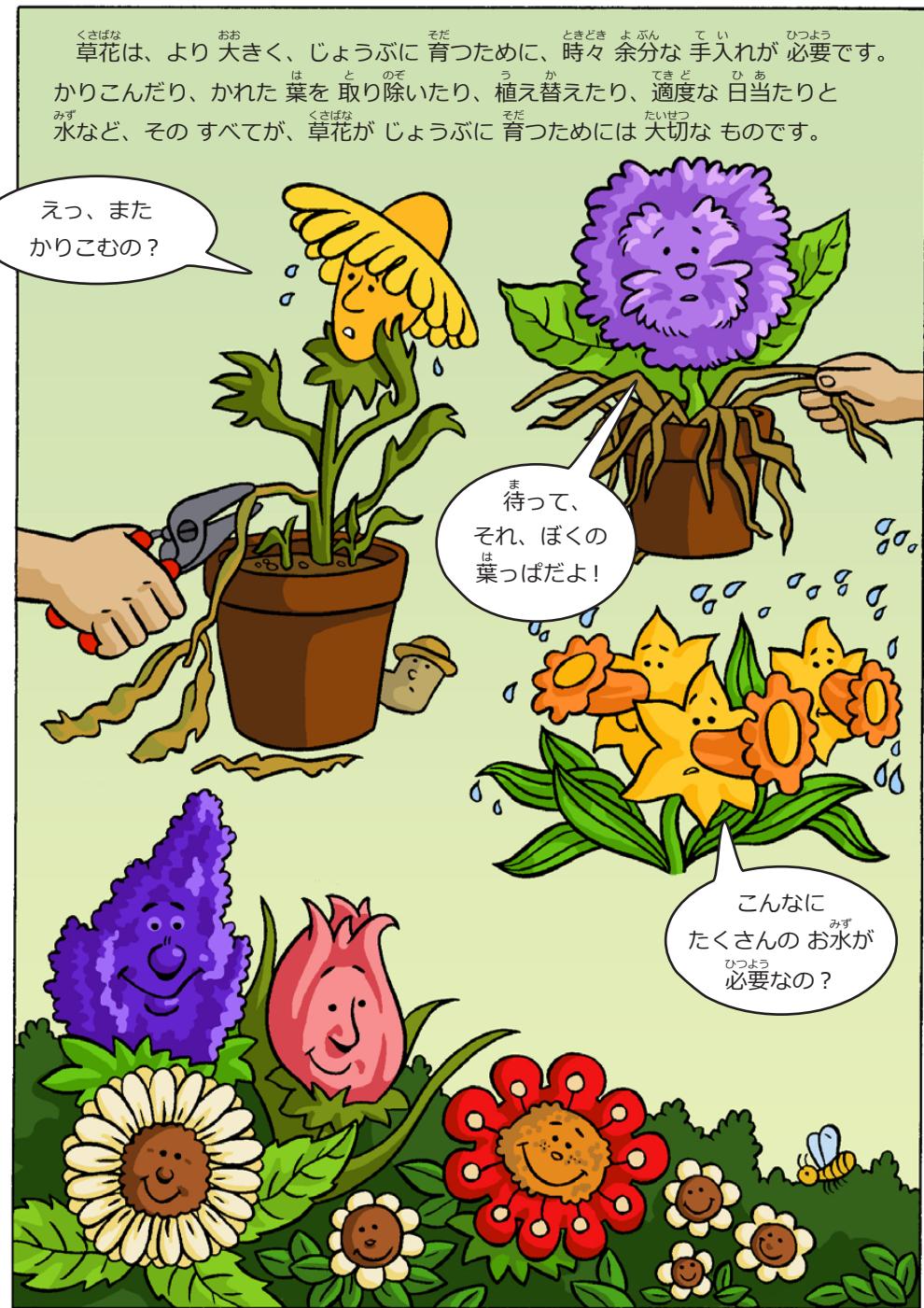
フレッドさんが、
わたしは植え替えが
必要なんですって。

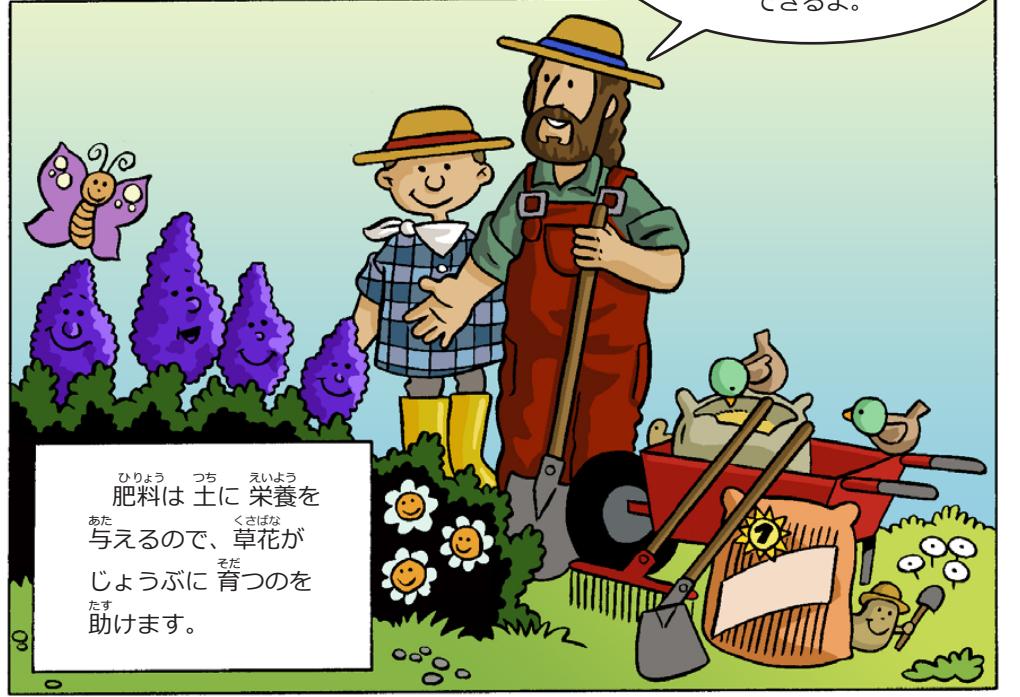
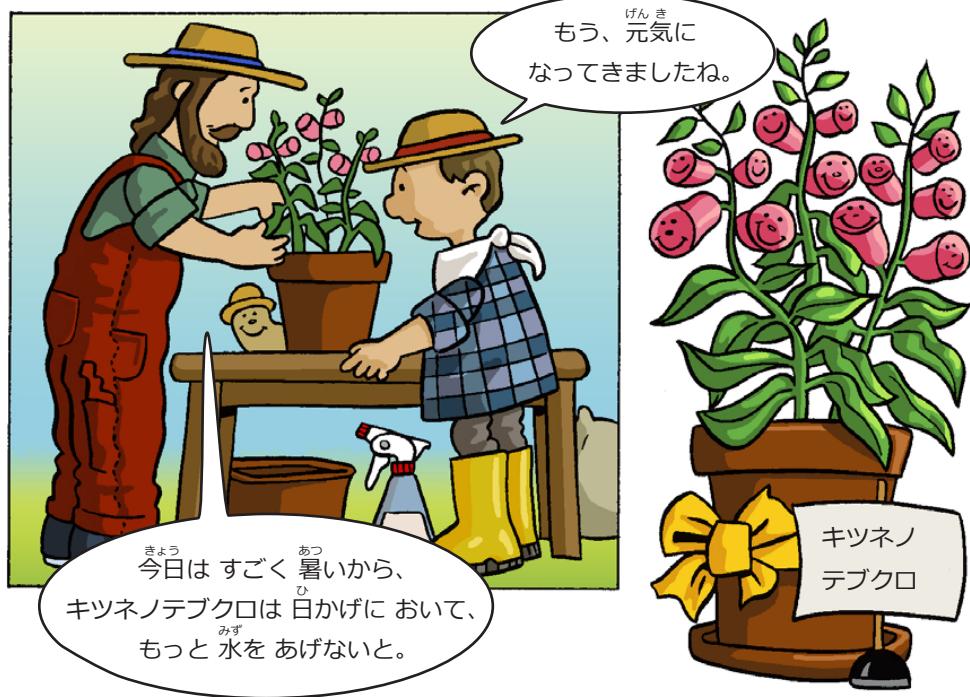
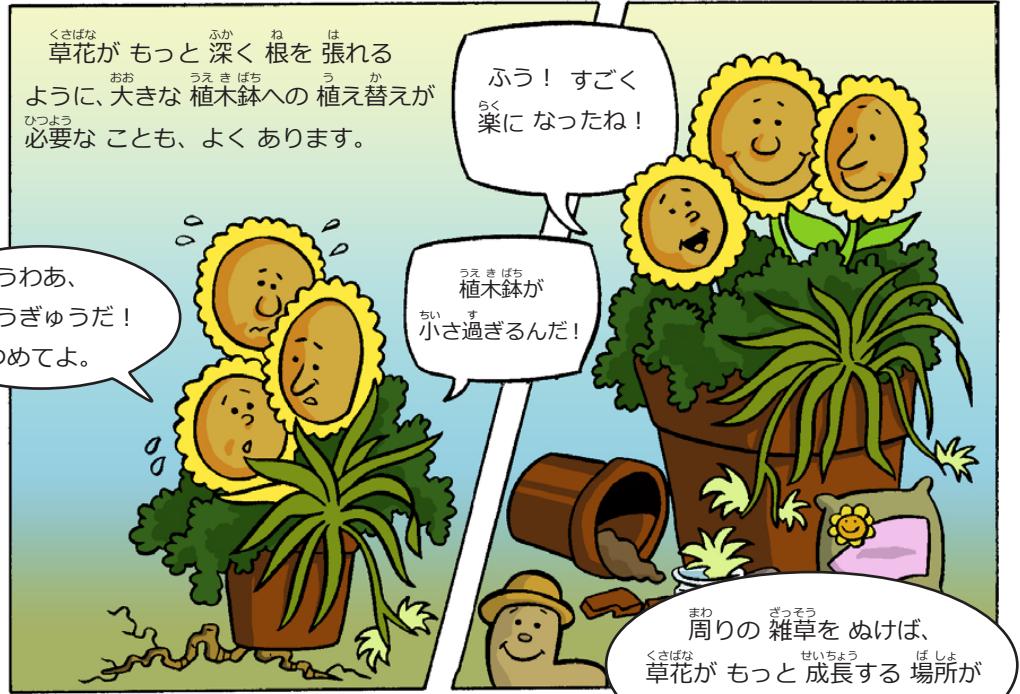
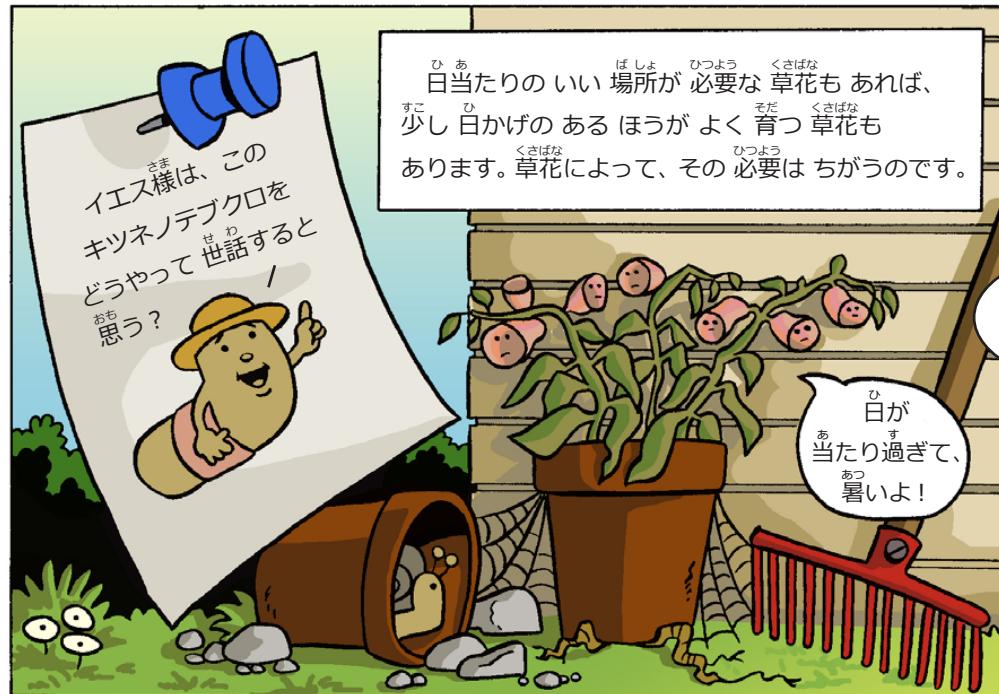
おや、
まあ！ 一体、
どうしたんだ？

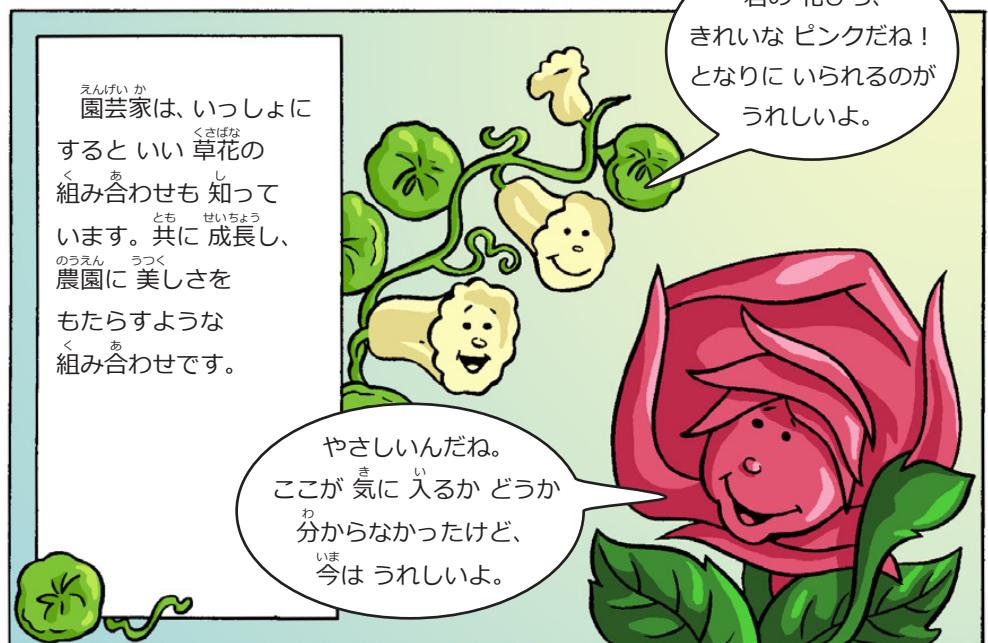
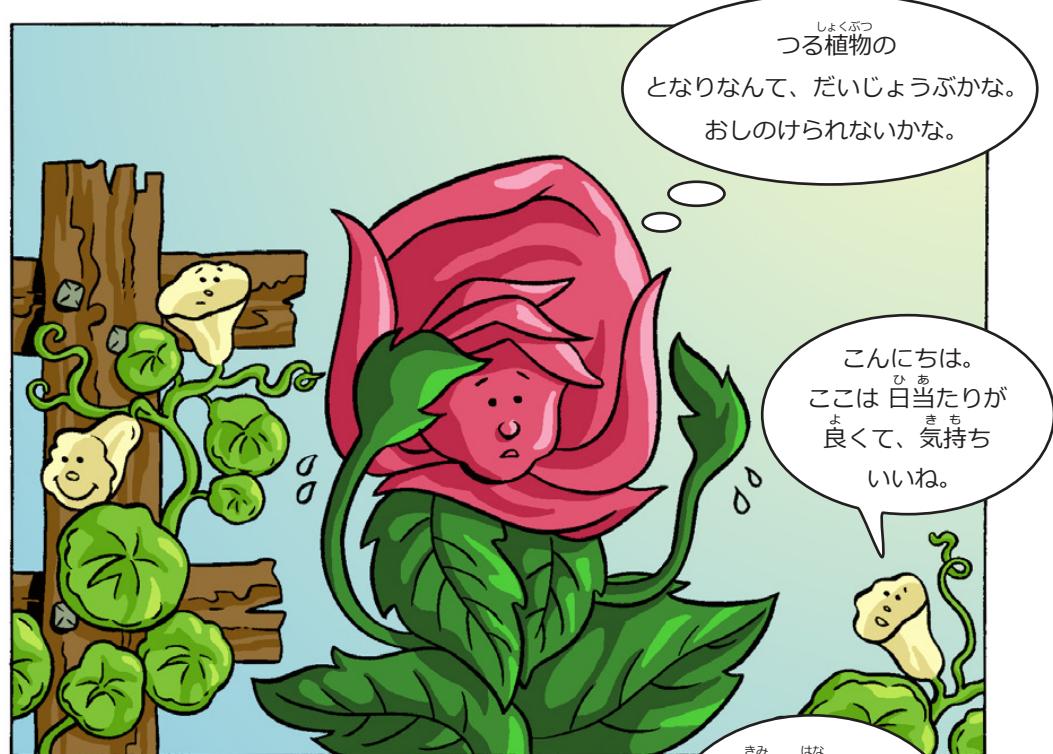
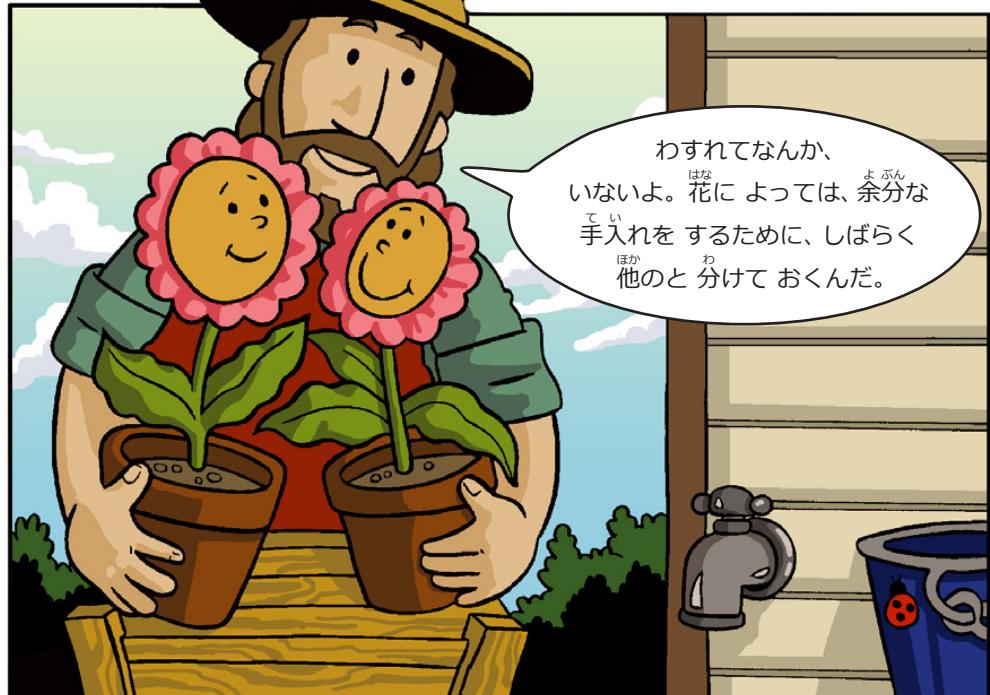
農園の花たちが、
かな悲しそうだ。どうしたら
いいんだろう。



わたしも、
ほかの場所に
うつ
移りたいなあ。











聖書には、神様は園芸家のように、ご自分の子供たちを心をこめて世話してくださると書かれています。¹一人一人にとって何が最善かをご存じで、わたしたちの一人一人が、靈においても信仰においても強く成長できるように、人生に変化や物事が起こるのをゆるされます。

この農園の草花が、園芸家が手入れしてくれるのを信頼して任せなくてはならないように、あなたも、神様を信頼しなくてはなりません。どうしてこんな事やあんな事が起こるのか、理解できないこともあります、神様はいつもそばにいて、あなたが一つ一つの経験からできるだけの事を学べるように助けてくださると信頼しなければならないのです。神様は、あなたの世話をし、必要なものを与え、元気でいるのに必要な、信仰や自信や愛を与えてくださいます。



¹ ヨハネによる福音書の第15章1-8節では、イエス様が弟子たちに、
神様は農夫であると語っています。読んでみましょう。